

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

# 1月号

2022  
第833号

## CONTENTS

「成年後見」20年、制度利用促進道半ば  
シニアカレッジ卒業生、若者と交流試み  
緊急小口資金貸付3月末まで受付延長中

卷頭特集

# 年頭のごあいさつ（2・3面）

新潟県社会福祉協議会  
新潟県共同募金会長  
新潟県知事



絵 たろきち 「およびでしょうか」  
(えかき・新潟市西区)



社会福祉法

新潟県社会福祉協議会 <https://www.fukushiniigata.or.jp/>

# 年頭のごあいさつ



社会福祉法人  
新潟県社会福祉協議会  
会長  
**竹内 希六**

令和4年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

皆様から日頃より社会福祉の推進にひとかたならぬご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行はワクチン接種が進み、昨年末にかけて落ち着きましたが、福祉の現場でご活躍の皆様はなお気の休まらない日々が続いていると存じます。

当協議会におきましても感染防止に十分配慮しながら各種研修会やイベント等を開催したほか、感染禍に付けても、市町村社会福祉協議会と連携して緊急小口資金等の生活福祉資金貸付による支援を行つてまいりました。

さて、ご承知の通り、少子高齢化の急速な進行や核家族化により、家庭や地域の支え合い機能が低下する一方で、社会福祉のニーズはより複

合化・複雑化しています。

このため、制度分野ごとの縦割りや、

支え手・受け手という立場を越え、地域住民など多様な人々が参画して、す

べての人々の暮らしと生きがいを充足する「地域共生社会」実現へ、重層的支援体制整備事業が社会福祉法に規定されました。

当協議会も「共に生き、共につくる

福祉社会を目指して」を基本理念に掲

げ、地域共生社会実現に向けた基盤構

築や権利擁護の推進、福祉人材の確

保・育成、生活にお困りの方への支援

などの事業において、県をはじめ、行政や市町村社会福祉協議会、福祉団体等の皆様と連携・協働して引き続き尽力してまいります。

私どもの取り組みへの一層のご理

解、ご協力を願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



社会福祉法人  
新潟県共同募金会  
会長  
**小田 敏三**

謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昭和22年に国民たすけあい運動として始まった共同募金運動も75回目を迎え、昨年度までに寄せられた寄付金の累計は252億円余りとなりました。

これもひとえに皆様方からの温かいご支援・ご協力の賜物であり、改めて心より感謝申し上げます。

令和3年度は募金目標額を4億7

637万円と定め、その達成に向けて懸命に取り組んでおり、皆様方からお寄せいただいた寄付金は県内の

様々な民間福祉活動やボランティア活動、さらには災害ボランティアへの支援などに活用させていただきます。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響で、接触機会の減少に伴う社会的孤立や生活困窮世帯の増加など

の課題が長期化・深刻化しているこ

とから、困窮世帯への食料支援やメンタル活動への支援、子どもたちへの学習支援などを昨年度に引き続き重点的に行います。

また1月からは、障害者支援や貧困対応、自殺防止運動など特定のテーマに絞って、助成を受ける団体が積極的に募金活動に参加する「にい

がた・新テーマ型募金」と、高齢者世帯などの除雪を支援する「あつたか雪募金」も始まりました。

新潟県共同募金会は、これからも県内の地域福祉活動を支援するため、さらなる努力を続けてまいります。

赤い羽根共同募金運動に今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。新年のごあいさつといたします。



新潟県知事

**花 角 英 世**

令和4年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が収束を見ない中、生活にお困りの方への支援や社会福祉施設等における福祉サービスの継続的な提供など、様々な福祉活動にご尽力いただきました皆様に、心から感謝を申し上げます。

県といたしましては、今後の感染拡大の可能性に備えた対策強化に関する国の方針や本県における第5波の対応状況を踏まえ、県内の医療提供体制の更なる強化を図るとともに、感染や重症化の予防等に有効なワクチンの3回目接種に向け、市町村や医療関係者等と連携しながら準備を進めるなど、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んでまいります。

皆様におかれましても、引き続き、基本的な感染対策の徹底など、感染防止対策にご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

さて、昨年4月に「地域共生社会」の実現を目指し、地域住民の複雑化・複合化した課題への対応に向け、包括的に支援する体制の構築を推進する改正社会福祉法が施行されたところです。

県といたしましては、市町村や関係機関と連携しながら、支援体制の構築など、支え合いながら共に生きる地域社会の実現に向けて、取り組んでまいりますので、皆様からもご理解をお願い申し上げます。

本年の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

# 謹賀新年

(一財)新潟県民生委員児童委員協議会

(公社)新潟県社会福祉士会

会長 本多 満理子

会長 渡辺 陽一

(一財)新潟県老人クラブ連合会

会長 大井 秀行

(一社)新潟県手をつなぐ育成会

会長 川瀬 聖志

(一社)新潟県老人福祉施設協議会

会長 佐々木 勝則

(一社)新潟県内社協職員連絡会

会長 寺口 能弘

新潟県ホームページ協議会

会長 竹内 希六

新潟県保育連盟

会長 平澤 正人

新潟県保育士会

会長 山田 文子

新潟県社会福祉法人経営者協議会

会長 平澤 正人



「成年後見」開始から20年余

# 制度の利用促進 道半ば

## 利用者数 「後見必要な人」の5%

判断能力が不十分な成人の財産や権利などを守る「成年後見制度」が平成12年に始まって21年。国が利用促進に向けて定めた「成年後見制度利用促進基本計画」は令和3年度末で5年間の計画期間を終えます。しかし、制度利用のための環境整備は全国どこでも道半ばの状況です。成年後見制度の利用促進を巡る、県内と全国の状況をまとめてみました。

### 国期待のコーディネーター役

### 「中核機関」全自治体に

#### ▼利用者は全国23万人

成年後見制度の利用者数は厚生労働省の資料によるところ、令和2年が全国で約23万2千人です。一方、認知症高齢者推計や療育手帳A判定以上の所持者数、精神障害者保健福祉手帳1級所持者数から推計した「成年後見制度による支援の必要性や可能性のある人たち」は421万人余りです。

つまり、成年後見制度を利用している人は、制度利用の必要性や、その可能性

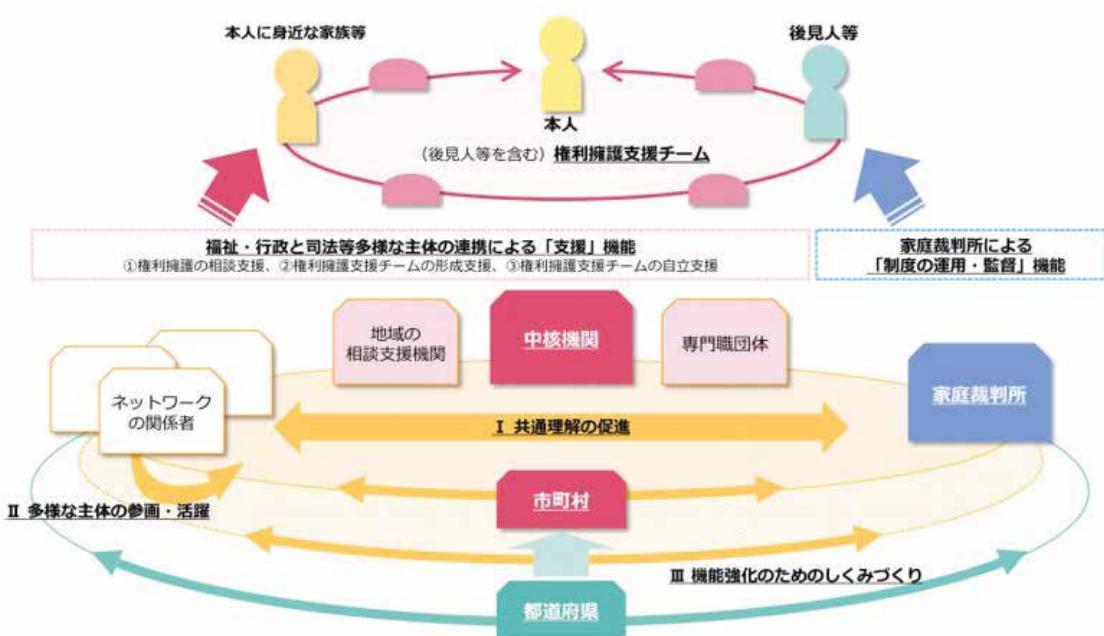
がある人たちのわずか5・5%に過ぎないのです。

#### ▼利用促進へ国の秘策

成年後見制度の利用を拡大しようと、国は法律・福祉の専門職団体や関係機関の連携により、権利擁護支援の必要な人を見つけ、適切に必要な支援につなげる地域連携の仕組みとして、全国の自治体に「権利擁護支援の地域連携ネットワーク」の設立を呼び掛け。それが「中核機関」（調整役となる「中核機関」の設置を提唱しています。

中核機関は「広報」「相談」

「権利擁護支援地域連携ネットワーク」の全体イメージ(次期基本計画)



に加え「支援方針の検討」「後見人候補者の推薦」「後見人への支援」などを担い、市町村における利用促進の

中核として、制度利用が必要な人や関係機関との調整などに努めます。

(→ 5ページに続く)

(→4ページから続く)

### ▼目標と異なる現状

国は当初、中核機関設置完了目標を5年間の「利用促進基本計画」期間中としていました。

しかし、令和2年10月1日現在、全国1741自治

体の中核機関設置は264自治体、全体の15%に過ぎません。県内でも30自治体のうち、設置したのは7自治体(令和3年7月1日現在)にとどまっています。



中核機関設置へ向けた津南町の検討会=令和3年12月

## 小規模自治体「金と人足りぬ」

### 国・県の支援策強化が急務

国の目標と実態なぜ、これほどの差が生じたのでしょうか?

▼設置進まぬ理由  
県内に限らず、人口規模

が足りず、中核機関を設置できないとしています。

一方、2025年には団塊世代の約800万人が後期高齢者となり、日本は超高齢社会に突入。認知症高齢者の増加が見込まれます。さら

## 県内7市町が設置済み

### ▼新潟県社協の支援

新潟県社会福祉協議会は令和3年度、県から「成年後見制度体制整備支援事業」の委託を受け、市町村での検討会開催支援や専門職アドバイザーの派遣を始めました。

新潟県も、継続的なアドバイザー派遣や市町村職員のスキルアップを目的とした研修会の開催など、さらなる市町村支援の取り組みを進めています。



十日町市の中核機関設置検討会=令和3年8月

が小さく社会資源が乏しい自治体ほど設置への態勢が十分ではないようです。中核機関が未設置の全国自治体をみると、半数前後が「行政における予算確保」

通します。

### ▼迫る超高齢社会

国は現在、令和4年度からの「次期成年後見制度利用促進基本計画」策定へ向け、専門家会議を設置して議論しています。

一方、2025年には団塊世代の約800万人が後期高齢者となり、日本は超高齢社会に突入。認知症高齢者の増加が見込まれます。さらに、成年後見制度の利用を含む権利擁護支援のニーズが増大し、多様化するとみられます。こうした状況に対応するため、国は都道府県による市町村への支援強化を掲げています。

新潟県も、継続的なアドバイザー派遣や市町村職員のスキルアップを目的とした研修会の開催など、さらなる市町村支援の取り組みを進めています。さらに、各地域においても専門職団体や関係機関が連携を強化・協力する態勢づくりが求められています。

令和3年度

# 全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした充実した補償と割安な保険料です。



◆加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

## セットプラン

保険金額	基本セットプラン	天災セットプラン
賠償事故に対応	身体賠償（1名・1事故）	1億円・7億円
	財物賠償（1事故）	1,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中） うち現金支払限度額（期間中）	200万円 20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円
	事故対応特別費用（期間中）	500万円
	被害者対応費用	1名につき 5万円限度 1事故 10万円限度
園児の傷害事故に対応	死亡保険金	121.2万円
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%
	入院保険金（1日あたり）	1,700円
	手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍
	通院保険金（1日あたり）	1,100円
	天災補償	なし

●簡単、便利な  
インターネットで手続きを

ふくしの保険

検索

<https://www.fukushihoken.co.jp>

基本セット補償保険料計算例

100名で加入の場合	
賠償	29,300円
傷害	
870円 ×100名 ×1口	87,000円
合計	116,300円

セットプランを  
おすすめします!!



## 個別プラン

### プラン 1 保育所業務の補償

- ① 基本補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 保育所の什器・備品損害補償

### プラン 2 保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

### プラン 3 保育所職員・ 労働トラブルの補償

- ① 保育所職員の労災上乗せ補償
- ② 保育所職員の傷害事故補償
- ③ 保育所職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償

### プラン 4 社会福祉法人役員の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、サイバー保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
保険会社 TEL: 03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
受付時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3 を除きます。)

「福祉にいがた」2022.1月号

## 23団体の活動選んで応援

3月末までテーマ型募金



応援したい福祉団体に募  
金する「にいがた・新テー

を掲げています＝表参照＝。  
皆様のご協力をよろしく

お願いします。  
なお、団体の活動内容などについては県共同募金会のホームページでも紹介しています。

# 赤い羽根情報



# 赤い羽根情報



マ型募金」が  
今年も1月1  
日から3月31  
日まで行われて  
います。

この募金は、  
福祉に関わる  
団体が力を入  
れるテーマと  
目標金額を示  
して寄付を募  
集。その活動  
テーマに賛同  
した個人や企  
業が県共同募  
金会を通じて  
寄付する仕組  
みです。

今回は23団  
体が参加し、総  
計2060万4  
000円の目標

マ型募金」が  
今年も1月1  
日から3月31  
日まで行われて  
います。

この募金は、  
福祉に関わる  
団体が力を入  
れるテーマと  
目標金額を示  
して寄付を募  
集。その活動  
テーマに賛同  
した個人や企  
業が県共同募  
金会を通じて  
寄付する仕組  
みです。

マ型募金」が  
今年も1月1  
日から3月31  
日まで行われて  
います。

団体名	主な活動内容	目標額
フードバンクにいがた	生活困窮者への食料品の無償支援など	2,000,000
教員サポートSmileういんず	支援を必要とする子供達などのクラスサポート	650,000
母と子の生命をつなぐオーバージーン	不登校や引きこもりなど問題を抱える人への支援	2,000,000
新潟いのちの電話	自殺防止運動の展開	500,000
障害者生活ステーションさんろーど	障害者支援施設の運営	1,300,000
新潟県ゲートキーパー協会	自殺防止運動の展開	300,000
新潟NPO協会	NPO支援	100,000
Az 自立援助ホームたいむ	自立援助ホームの運営	1,000,000
学童保育にしち子	学童保育・放課後等デイサービスの運営	2,000,000
UNE	障害者支援施設の運営	700,000
上越地区手をつなぐ育成会	障害者への支援	100,000
かみえちご山里ファン倶楽部	地域の交流事業など	654,000
新潟県フードバンク連絡協議会	NPO支援・生活困窮世帯支援など	2,000,000
フードバンクしばた	生活困窮者への食料品の無償支援	3,000,000
NPOかも小町	生活相談、移動支援、認知症カフェの運営	1,000,000
古民家巣立ち	地域の居場所づくり	500,000
フルトネット	不登校や引きこもりなど問題を抱える人への支援	200,000
みつけ・ふれあい食堂	こども食堂の運営	200,000
フードバンクさんぽく	生活困窮者への食料等の支援	500,000
ピーカブー	子育て支援、フードバンク活動、ゲートキーパー活動	300,000
胎内市フードバンク協議会	ひとり親世帯への食料支援など	1,000,000
ミンナのチカラ	引きこもり当事者とその家族の居場所の運営など	100,000
虹彩福祉会	児童発達支援施設の運営	500,000
合計	23団体	20,604,000



新潟ユニゾンプラザで行  
われました。

令和3年度は県内の小・  
中学校39校から138点の  
応募があり、入賞6点と  
佳作20点が選ばされました。

式では、受賞者を代表し  
て県知事賞を受賞した、長  
岡市の小学4年生、中村  
苅乃さんが「みんなが助け

する第69回「たすけあい作  
文コンクール」の表彰式が  
11月28日、新潟市中央区の

### たすけあい作文コンク

#### 入賞6人表彰

合って障害がある人もない  
人も明るく生活できる世界  
になればいいなと思ってい  
ます」とあいさつしました。

なお、入賞作文は県共同  
募金会のホームページから  
ご覧いただけます。

入賞者は次の通り。

県知事賞 中村苅乃さん  
(長岡市立下塩小学校4年)

▽県教育委員会教育長賞  
柴野仁希さん(県立柏崎翔

洋中等教育学校2年)▽新  
潟日報社長賞 横澤花奈さ

ん(妙高市立新井中学校2  
年)▽NHK新潟放送局長  
賞 瀬高礼乃さん(新潟大

学附属新潟中学校2年)▽  
県社会福祉協議会長賞 宮

下音奏さん(長岡市立青葉  
台小学校5年)▽県共同募  
金会長賞 渡邊結菜さん  
(胎内市立中条小学校6年)

表彰式の後、記念撮影する  
「たすけあい作文コンク  
ル」の入賞者たち

## 緊急小口資金

## 総合支援資金(初回)

## 緊急小口資金等特例貸付

# 3月末まで受付期間延長

新潟県社会福祉協議会では新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯へ、市区町村社会福祉協議会を窓口に「緊急小口資金等特例貸付」を実施しています。この緊急小口資金等特例貸付の受付期間が延長されました。

緊急小口資金と総合支援資金（初回）の受付期間は令和4年3月末までとなりました。

新潟県内の申請状況は令和3年12月20日現在で13,694件、金額35億8907万円です。内訳は緊急小口資金が8,604件、金額12億7411万円、総合支援資金（初回・延長・再貸付）が5,090件、金額23億1496万円となっています。

いまだ新型コロナウイルス感染症の影響は県民の皆様の生活に大きな影響を与えていることから、生活上のお困り事を含め、貸付を希望される方は、お住まいの市区町村の社会福祉協議会へご相談ください。

特例貸付	【緊急小口資金】 (一時的な資金が必要な方)	【総合支援資金(生活支援費)】 (生活の立て直しが必要な方)
貸付対象者	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
貸付上限	10万円以内 (学校等の休業等、個人事業主等の特例20万円以内)	(2人以上)月20万円以内 (単身)月15万円以内 貸付期間：原則3ヵ月以内
据置期間	1年以内 ※令和4年3月末以前に償還時期が到来する予定の貸付に関しては、令和4年12月末まで延長。	1年以内 ※令和4年12月末以前に償還時期が到来する予定の貸付に関しては、令和4年12月末まで延長。 ※総合支援（延長）令和5年12月末 ※総合支援（再貸付）令和6年12月末
償還期限	2年以内	10年以内
貸付利子	無利子	無利子

## 新潟ユニゾンプラザ 情報

### —会場の使用方法紹介—

#### 多目的ホールと会議室の中継利用



多目的ホール

大研修室・大会議室

ユニゾンプラザでは、多目的ホールと各種会議室の間で“映像や音声の中継”することができます（オフラインで利用可能です）。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、会場の分散化や三密防止の観点から利用が増加しています。

詳しい利用方法などはお問い合わせください。

#### 貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など、用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場(220台)を完備しております。

#### ◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。  
貸室の予約状況も公開しています。

URL : <https://www.unisonplaza.jp/>

#### インターネットサービス

多目的ホール及び4、5階の各会議室でインターネットを利用できる環境を整備しました。オンライン研修や会議などでご使用できます。

インターネットの使用料は無料。無線LANルーター、有線LANも無料で貸出を行っています（数に限りがあります）。



—多目的ホール、各種会議室、福祉の店パレット、図書館は新型コロナウイルス対策を励行しています—

## 今年も生保県協会

### 15ボラ団体へ 備品購入助成

魚沼市社協には車



県内に支社などのある生命保険22社でつくる生命保険協会新潟県協会（会長・加見英之明治安田生命新潟支社長）は11月15日、県内15のボランティア団体・グループに備品購入費として計101万5千円を、魚沼市社会福祉協議会には福祉巡回車として軽自動車を贈呈しました。

新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで行われた贈呈式では、加見会長が「30事業所の職員約5500人に募金を呼び掛け、それを原資に社会貢献として助成を続けている。お役に立てれば光栄」とあいさつ。「音声訳」「フードバンク」「子育て支援」「日本語教室」などの団体・グループの代表らに目録を手渡しました。

この後、各代表は1人ずつ、活動内容を紹介しながら「活動に必要なパソコンが古くなり、常に苦慮していた」「プロジェクトを購入してみんなで勉強会をねたい」「本当にありがたい」とお話を述べました。



魚沼市社協へ福祉巡回車を贈る加見・生保県協会会長（右）

県社会福祉協議会の竹内希六会長は加見会長に感謝状を贈りました。

この後、ユニゾンプラザ

入り口前に移動。加見会長が穴沢邦男・魚沼市社協会長に福祉車両のゴールデンキーを手渡しました。

## 工芸など 力作展示 ユニゾン 独創感性きらり

### 県障害者芸術文化祭

県内の障害者らが創作活動の作品などを発表する「県障害者芸術文化祭」が11月16から21日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開かれました。県主催で、今年で19回目。

1階のイベント広場を会場にした作品展示では知的や身体、精神に障害のある人たちが出品した写真や絵画、工芸、書道、俳句・短歌などの作品約340点が飾られました。



第19回を迎えた県障害者芸術文化祭

作品は、陶器や布のタペストリー、新聞チラシを使つた「のれん」、夜空の花火を表現するために、多くのひらをモチーフにした

ユニゾンプラザの多目的ホールを会場にした芸術文化祭ステージ発表は、新型コロナウィルス感染対策のため、関係者だけの無観客開催となりました。

絵画など、どれもアイデアに富んだ作品ばかり。新潟市中央区内から会場を訪れた女性2人連れは「どれも立派な作品ばかりで、驚いてしまいました」と話していました。

### 新潟県社会福祉協議会機関誌広告掲載料金

区分	大きさ	2色刷り掲載料	カラー掲載料
1段	縦5cm×横17cm	33千円	44千円
2段	縦10cm×横17cm	66千円	88千円
半ページ	縦12.5cm×横17cm	82.5千円	110千円
全ページ	縦25.5cm×横17cm	154千円	198千円

※金額は税込み総額表示※版下は広告主が制作

問い合わせ 新潟県社会福祉協議会企画広報課 ☎025(281)5584

### 「福祉にいがた」「福祉にいがた オアシス21」へ掲載する広告募集

新潟県社会福祉協議会が発行する機関誌「福祉にいがた」「福祉にいがた オアシス21」に掲載する広告を募集しています。

「福祉にいがた オアシス21」は8月、12月、3月に17,000部を、「福祉にいがた」はそれ以外の月初めに12,000部を発行しています。

県内の市町村や社会福祉協議会、福祉施設などに配布され、大勢の県民の皆様からご覧いただいています。

## シニアカレッジ卒業生↑↓医福大生

# 活動報告を通じて交流

## 同窓会企画 学長「意義ある催し」

### ユニゾンプラザ



卒業生の「フードバンク」活動報告

シニアカレッジ新潟の卒業生らと新潟医療福祉大学（新潟市北区）の学生らが、それぞれの活動報告を通じて交流する催しが12月6日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザがありました。

「若者（大学生）と高齢者（同窓生）の活動紹介・交流」と題した催しのテーマは「安心して暮らせる老後社会に向けて」。



大学生の「プラごみと環境」考察報告

この催しは、カレッジ卒業生らが若者らと交流する場を設けようと、卒業生らの同窓会事業企画員5人が発案し運営。同窓生ら約80人が参加しました。

初めに、石上和男学長が「若者とシニアの相互理解を深めるために」と題して基調講演。コミュニケーションを通じた相互理解の目的は「住みよいコミュニティ



卒業生の「同窓会活動」活動報告

イーを作ることだ」などと力説しました。

学生側から、石上学長が教授を務める新潟医福大の学生2組が登壇。石上ゼミで学ぶ1年生2人が「プラスチックごみの環境への影響と私たちにできること」を報告。プラスチックごみの出し方次第で「地球環境や生物へ悪影響を及ぼす」と、分別に関心を持つこと



大学生の「地域貢献活動」報告

を紹介しました。その上で「活動を通じ地域の子どもから高齢者まで幅広く交流できた」と述べました。

卒業生で、フードバンク真木英明さん（平成28年度卒）は「食品ロスと環境との関連について」を報告。

フードバンクについて「生活困難者の自立支援をサポートし、食を通じて人と人との関心を持つこと

をつなげる活動だ」などと紹介しながら「フードバンク活動に参加してほしい」と呼び掛けました。

続いて「シニアカレッジ長岡同窓会の集い」と題して、長谷川徹さん（平成26年度卒）が同窓会活動として講演会開催や、町歩き、小旅行などの活動をスライド写真とともに紹介。「役員の若返りをいかに図り、出席者をどう増やすか、さらに、財政状況が脆弱だ」と課題も打ち明けました。

総評で石上学長は「それに活動しながらも交流する『場』がなかつた。とても意義ある催しだった」と述べました。



基調講演する石上和男学長

の大切さを訴えました。

続いて、学内ボランティアサークル「レクア・コム部」の学生らは「地域貢献活動について」を報告。子どもたちとの遊びや、花火大会や祭りへの参加、河川敷の草取りなど日頃の活動

。

アサーケル「レクア・コム部」の学生らは「地域貢献活動について」を報告。子どもたちとの遊びや、花火大会や祭りへの参加、河川敷の草取りなど日頃の活動

。





新潟ユニゾンの図書館  
お薦め

新潟ユニゾンプラザ2階  
の「ユニゾンの図書館」お  
薦めの本。

うつあ、失明…それでも  
1冊目は「最初に夜を手  
ばなした」（椿冬華著）。

昭和63（1988）年生  
まれの著者は先天性ろうあ  
視野だそうです。そんな著  
者は「文字」を「自分の世  
界」として追い求め、書き  
上げた小説をネットサイト  
で公開しています。

病気の進行でだんだん、  
できないうことが増え「老化  
の先取り」と表現する著者  
は「あとがき」で呼び掛け

ます。  
「みなさん『今』を後回  
しにしていませんか？ 愛す  
ることを後回しにすんな、  
今、愛せ!!」

続けていたことを手放し  
続けざるを得ない著者。そ  
れでも前向きに生きる心情  
を、自身の絵と短文にした  
ためています。

できていたことを手放し  
続けざるを得ない著者。そ  
れでも前向きに生きる心情  
を、自身の絵と短文にした  
ためています。

だわり」などに振り回され  
ながらも「ゆっくりでいい」  
と成長を見守ります。

母親は出産当初「秀才児  
に育てよう」と意気込んだ  
のですが、その後「幸せ  
とは何か」を考え「自閉症  
でないと勇太でなくなる」  
「勇太は勇太のままでいい」  
と結んでいます。

新年の目標。子どもの  
頃には必ず立てたものだつ  
たが、大人になつて「どう  
せ実行できない」と、遠ざ  
けてしまつて久しい。

しかし、昨夏の東京パラ  
リンピック女子競泳の銀メ  
ダリスト、阿賀野市の中学  
3年生が挙げた座右の銘  
「無欲は怠惰のもと」が耳  
から離れない。振り返れ  
ば、努力するのも、目標達  
成できなかつた際の敗北感  
を味わうのも、ともに嫌だ  
った。怠惰そのものだった。  
自分の殻を破るには、目  
標も努力も必要だろう。で  
も今回は大仰に構えず、さ  
さやかな目標にとどめよう。  
例えば、平凡ながらも無事  
に生きていることを日々、  
周囲に感謝するのはどう  
か。新年は「ありがとう」  
をたくさん言おう。えつ？  
簡単過ぎる？

## 編集後記

### パレット新潟店営業日

2022年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	…は休業日				

福祉の店  
パレット情報



ご意見ご感想  
お寄せください

◆◆◆新潟ユニゾンプラザ3階  
ファックス 025-281-55200  
メール oasis@fukushinigata.or.jp

簡単過ぎる？

(佐)

心配ごと・悩みごと 1人で抱え込みます、お気軽にご相談ください

新潟県高齢者総合相談センター 相談電話 025-285-4165

新潟県認知症コールセンター 相談電話 025-281-2783

【所在地】〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階

【相談時間】月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

この機関誌は、  
赤い羽根共同募金の  
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会

新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ

☎ 025-281-5584

発行人／関原 貢

定価／5円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた

令和4年1月1日発行（毎月1日発行）

印刷／株式会社 ジョーメイ